

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野防災センター
施設所管課・担当	消防局予防部予防課（地域防災）
条例上の設置目的	災害に関する知識及び防災技術の普及向上並びに防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時における応急活動の拠点としての役割を果たすことを目的とする
業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する教育及び指導 ・地震その他の災害及び防災に関する資料及び装置の展示 ・防災に関する講演会、講習会、研究会等各種行事の開催 ・貸室運営業務及び施設総合管理
成果指標	利用者満足度
数値目標	80%以上
指定管理者名	一般財団法人大阪消防振興協会、株式会社ノムラメディアス大阪事業所、ジェイ・アクシス株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	
数値目標	80%以上	
年度実績	98.1	
達成率	122.6%	

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	104,353	94,923	9,430
稼働率	82.7%	86.1%	-3.4%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	84,902,455	84,902,455	0	
	計画	84,902,455	84,902,455		
利用料金収入	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	1,000,569	631,855	333,909	
	計画	666,660	528,660		
合計	実績	85,903,024	85,534,310	333,909	
	計画	85,569,115	85,431,115		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	56,159,087	54,030,949	4,644,929	人件費の増加及び通勤手当の増額
	計画	51,514,158	47,983,848		
物件費	実績	36,097,421	30,780,888	81,602	
	計画	36,015,819	36,918,607		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	92,256,508	84,811,837	4,726,531	
	計画	87,529,977	84,902,455		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度80%以上	122.6%	S	

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
来館者の状況により、照明器具や空調機のコマメな電源オフに努め、消費電力の節約に務めた	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	A	
施設の有効利用	A	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

障がい者のため点字資料の作成や地震体験における車いす固定具の導入、外国人に対応した9ヵ国語の案内資料作成など多くの方が体験しやすいサービスの向上を図った。また、年間を通して、世代別（子ども、子育て世代、高齢者等）を対象としたイベントを開催することで、それぞれの世代に合わせた防災の知識・技術の向上を図っている。

6 外部専門家意見

【専門家①】

2024年の能登半島地震、またその後の水害、さらには噴火なども発生し、市民の防災への関心が高まっていると推察します。そのような中、大阪市立阿倍野防災センターは「誰でも気軽に立ち寄り学べる施設」としての役割があり、来場された方が防災に対する具体的な備えを推進するなど、「行動変容」につながることを期待されます。その観点から、2024年度に来場者数増、また各コースへの体験者増が達成できたことは評価できます。加えて、アンケートによる成果指標の達成度が高いことも高く評価できます。

「パパ・ママ応急手当教室」「シルバーエイジ・ファイヤーイベント」「子供学生VR防災自由研究」など世代等のニーズにあわせて行事展開をされており、来場者が「わがこと」として考えられるような仕組みになっています。また、地元の他組織と連携した「あべの天王寺サマーキャンパス2024」の実施や、他組織と連携した「あべのタスカル・サマーイベント2024」の実施など、来場者数の多さのみならず、市民に「多職種連携・他組織連携が重要であること」を示していると考えられます。これらの点において高く評価します。さらに、障がい者や外国人への取り組みについて、案内板の設置などを推進されたことも評価できます。

今後は、大阪市のような大都市であっても「支援側と支援される側の数が大きく逆転する人口減社会における防災」を考えていく必要があります。「市民一人一人の備えを強化頂くことを目的とした施設」ではありますが、リニューアルされた施設・多くの知見を持ったスタッフをリソースに、次の新しい視点を持った防災施設となっていくことを期待します。

【専門家②】

R6年は1月、8月と大きな災害があり、我々一人一人が防災について改めて考える1年でした。その中で、年間を通して、各月安定した開館日数を確保し、防災を学び体験する場として施設を運営し、増加した利用者への対応もしっかりと行いました。インバウンドの需要の回復で外国人の防災対応も必要になる中、新たに9ヵ国語の案内資料作成など多くの方が体験しやすいサービスの向上を図ったこと、障がい者対応として点字資料を作成したこと、車いすの方が安全に体験できる取り組みを進めたことは、防災の観点で多様性とグローバル化を進める取り組みとして評価できる。

そして事業者向けの取り組みとして屋内消火栓設備の使用方法を体験することを目的としたFコースの体験可能日を増加させるなど、より多くの対象者で効果が見込める取り組みも進めたことも評価できます。このように事業者も自社の防災取り組みに体験型防災学習施設をもっと活用指定いただきたい。

コロナは第5類に移りましたが、多くの人が集う場として衛生管理についての対策をしっかりと実施していました。今後もあべのタスカルが多くの方に利用され、我々一人一人の防災意識向上と行動に繋がる知識を得ることが重要と考えます。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	市民の防災に対する関心が高まっている中、指定管理者の運営が来館者の防災知識・技術の向上に非常に寄与していることが来館者アンケート結果からも伺える
市費の縮減	B	消費電力の節電に努めてた部分は評価できるが、人件費や物価高騰の中、前年度に比べ費用が増加しているため、更なる改善策が必要
管理運営の履行状況	B+	多種多様な来館者への対応として、各世代をターゲットとした各種イベントの開催や障がい者や外国人のために展示資料や日本語の他9ヵ国語の案内資料を作成するなど、サービスの向上を図った点は評価できる。そういった点がアンケート結果にも表れている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	人件費や物価高騰の中、市費の縮減は大変厳しい状況ではあるが、継続的な運営のため更なる努力が必要である。 しかし、新たなイベント開催や多種多様な来館者への対応など、指定管理者のサービスが利用者の満足度にも表れており、市民の防災知識・技術に大変貢献していることは高く評価できる。